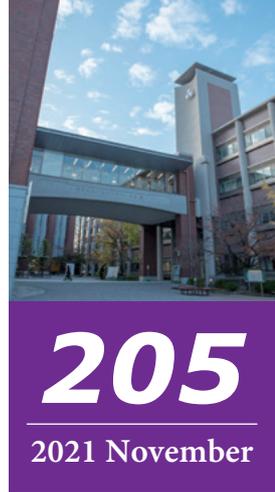


# One Purpose

FOR BETTER COMMUNICATION

同志社大学通信  
DOSHISHA UNIVERSITY



205

2021 November

One Purpose SPECIAL TALK

## 直木賞受賞 記念鼎談

澤田瞳子さん×門井慶喜さん×植木朝子 学長



同志社人訪問

トキエア株式会社 代表取締役

長谷川 政樹さんに聞く

My Purpose ～挑戦する人～

村上 翔さん

## One Purpose SPECIAL TALK

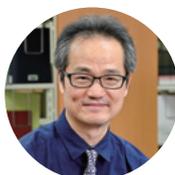
### 2 直木賞受賞記念鼎談

### 7 Seminar ～ゼミ探訪 学びの時間～

経済学部 小林 千春 ゼミ  
商学部 田口 聡志 ゼミ  
理工学部 小山 大介 研究室  
心理学部 竹原 卓真 ゼミ

### 9 同志社の研究は今

言語生態科学研究センター  
研究センター長 沈 力(文化情報学部 教授)



### 11 来年度就職を目指す皆さんへ

### 13 同志社校友会

### 15 INFORMATION

クリスマス・イルミネーション点灯式／第146回同志社EVE「青春奪還」開催!!／  
2021年度 卒業式・学位授与式(学部・大学院)／2022年度 入学式(学部・大学院)／  
本学教員の執筆図書紹介

### 18 INTERVIEW ～同志社人訪問～

トキエア株式会社 代表取締役  
長谷川 政樹 さんに聞く



### 21 My Job, My Life ～私と「仕事」～

甲木 里枝さん (2003年 総合政策科学研究科修了)  
北川 敏匡さん (2007年 工学部機能分子工学科卒業)

### 23 My Purpose ～挑戦する人～

村上 翔さん (文化情報学部 文化情報学科 2 年次生)



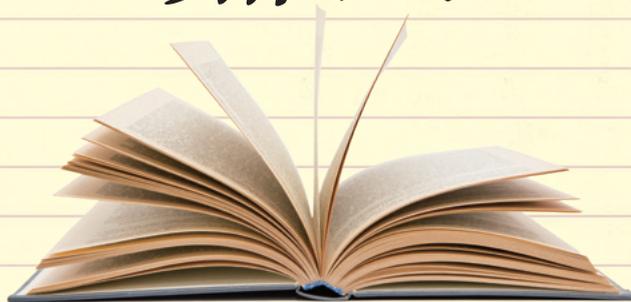
#### お知らせ

「One Purpose」は在学生・卒業生の皆さんとのコミュニケーションを図ることを目的として発行しています。  
同志社大学の最新情報は随時ホームページでお知らせしております。ぜひご覧ください。▶ <https://www.doshisha.ac.jp/>

卒業生の住所変更、発送停止を希望される場合の連絡先は以下にお願いします。  
校友課 TEL:075-251-3009 MAIL:ji-koyu@mail.doshisha.ac.jp

One Purpose SPECIAL TALK of Naoki Prize award commemoration

# 直木賞受賞記念 鼎談



植木朝子同志社大学学長 × 澤田瞳子さん × 門井慶喜さん





澤田瞳子さん（02年文院修了）が歴史小説『星落ちて、なお』で、2021年上半期の第165回直木賞を受賞されました。2018年には門井慶喜さん（94年卒）が、『銀河鉄道の父』で第158回直木賞を受賞されています。お二人は文学部文化学科文化史学専攻（現・文化史学科）の卒業生。そのお二人に国文学者である植木朝子学長が加わり、歴史小説の魅力や執筆活動の舞台裏を語り合いました。

## 偉人ではない人を描くと 歴史がさらに 包括的に見えてくる

**植木** まずは澤田さん、直木賞受賞、誠にありがとうございます。

**澤田** ありがとうございます。

**植木** お二人の直木賞受賞作品は、共に親子関係に焦点を当てたものです。『銀河鉄道の父』は宮沢賢治の父、政次郎が主人公。『星落ちて、なお』は「画鬼」と呼ばれた天才画家、河鍋暁斎（かわなべきょうさい）の娘、とよが主人公です。天才本人ではなく、それを支えた人、あるいはそれに振り回された人物に注目された理由をお話いただけますか。

**門井** 僕は有名人の周辺にいる人を書くこともあるし、徳川家康のような有名人を書くこともあります。どちらも僕自身ではないので、自分の想像力で書かないといけない点では共通しています。そういう意味では、有名人か周辺の人かによ



る区別はあまりしません。どちらも歴史であるという感じがします。

**植木** 門井さんの『家康、江戸を建てる』は河川整備や石垣の造成をした人など、歴史の表舞台には現れないけれども、大事業を支えた人たちの群像劇ですね。こういう着眼点は「地の塩たれ」という、同志社の精神と重なるようにも感じます。

**澤田** 私の場合は、有名人と有名人の間の空白部分を汲むと、歴史をもう少し包括的に捉えられるのではと考えて、名の通った偉人ではない方を書くことが多いです。

**植木** お二人の直木賞作品で描かれる親子の関係性は非常に対照的です。政次郎は賢治を溺愛しますが、河鍋暁斎の娘、とよは、父や兄に対して愛情と憎悪がないまぜになった複雑な感情を持っています。それぞれ葛藤があり、単純ではない。そういう親子間の感情描写には、どのような思いで取り組まれたのですか。

**門井** 政次郎の場合、僕の作品には珍しく、僕の実生活の状況に近い主人公なんです。僕自身、3人の息子がいます。子どもの成長とともに、父親として積み重なってきたものを小説という形で出したくなった。それを歴史小説として考えた時に、宮沢政次郎という題材に出合った。そこで図らずも、そういう自分が非常にストレートに出てしまった感じです。

**澤田** 人間はすべて誰かの子ども。子どもは普遍的な存在なので、誰もが感情移入できます。そこでまず、子どもという存在に向き合いたかった。そして家族だから縁は切れないけれども、遠いかもしれないという存在を、天才の家族をモデルにして書いてみたかった。そこで、とよという存在を描こうと思いました。

**植木** 澤田さんのお母様は作家の澤田ふじ子さんです。今回の受賞インタビューで、創作者を親に持つ点が、とよと同じだという指摘に対して、執筆上は特に意識しなかったとお話でした。実生活と

作品との関係性について、作家ご自身はどんな感覚でおられるのですか。

**澤田** 描く対象は過去の人なので、考え方も日々の暮らしもまったく違う。そこに私の実生活を直接投影することは少ないですね。自分自身に起きた喜怒哀楽のエッセンス的なものを扱えると思うことはありますけれど。

## 作品に張り巡らされた 仕掛けを読み解く楽しみ

**植木** 『銀河鉄道の父』には蛍の童歌（わらべうた）が出てきます。こっちは水は



甘いからこっちに来いという普遍的な童歌が、東北の言葉によって2回、出てくる。最初は赤痢にかかった賢治を看病する場面、2回目は臨終の床にある賢治に寄り添う場面。多くの童歌からこれを選んだ巧みさに感激しました。蛍は古くから人の魂の象徴とも見られてきたからです。生死の境にある賢治に対して「そっちに行くな」という祈りが込められているように読めました。そして1回目はこっちに残った賢治が、2回目はそっちに逝ってしまう。一つの歌を通して非常に対照をなす場面が描かれて、見事だなと。

**門井** 蛍が生死の象徴とまでは、考えて



いませんでした。当時の東北地方で歌われていたであろう童歌を本で探し、見つけ出したのがあの歌です。歌の引用で難しいのはメロディーが分からないことです。メロディーを知る人が読めば違和感



を抱くかもしれない。ただ、やはり歌謡や詩は、散文よりも人間の心を非常に強く揺さぶります。詩は強い援軍です。

**植木** 澤田さんの『落花』という作品では、章立てが「行旅／管絃／交友／無常／將軍／白」と、『和漢朗詠集』の部立（ぶだて）を使っておられますね。

**澤田** 気づいてくださってありがとうございます。『落花』は能楽の「松虫」が基本になっています。「松虫」は男同士の友情の話で、「朝（あした）には落花を踏んで相伴って出づ」という『和漢朗詠集』の詩を引用しています。その友情を平将門と僧・寛朝にあてはめ、でも作品の世界は室町時代ではないので、『和漢朗詠

集』の詩に仮託して作品名を『落花』としました。

**門井** そういう仕掛けを明確に企んでやるというのは、僕はなかったですね。損したなあ、これからしてみよう（笑）。

**植木** 門井さんの作品にはミステリー的要素があるので、伏線を張っていくところは、やはり仕掛けを重ねていると言えますね。

**門井** そうですね。僕はQ&Aと書いていますが、ミステリーの場合は、例えばここに死体がある。殺したのは誰だというQが出て、それに対するAを探す。宮沢政次郎なら、なぜ息子ってこんなにかわいいんだというQに対するAを、一冊かけて探し出すという構造です。そういう意味で僕の作品は、歴史を描いても、広い意味で謎解き小説だと思います。

**植木** お二人とも緻密に史実を調べていくという、研究者の側面も強くおあります。そして豊かな独自世界を構築しておられる。史実と虚構について、お考えや向き合い方をお聞かせください。

**門井** 僕は「攻めのフィクション」を基本的な態度としています。事前に可能な限りの調べをして、これしかないというところまで詰める。それをフィクションにすることによって事件なり人物なりが、より強く読者に伝わる。これが攻めのフィクション。ところが準備をしても、心理など、どうしても史実では埋まらない部分がある。そこはフィクションの手法に頼らざるを得ない。それは動機が消極的なので「守りのフィクション」です。同じ虚構でも、なるべく攻めのフィクションでいきたいと思っています。

**澤田** 大前提として、歴史小説は基本的に虚構なんですね。けれど、歴史的事象はちゃんと押さえねばならない。私は歴史小説を書くことを、家造ることにとえています。史実という柱は動かさないけれども、柱と柱の間にどんな壁を塗るのかなど、材料の調理は作家の自由。意外な材料を持ってきて、「こんな家が建つの？」という面白さを提示するのが歴史小説かなと思います。

## 歴史小説における各時代の魅力とは

**門井** 僕は近代を書くことが多く、澤田さんは古代や中世のイメージが強かった。



ところが今回の受賞作では、初めて近代を扱われましたね。

**澤田** これ以前にもう1作、明治5年の東京が舞台の『名残の花』があります。でも大正まで書いたのは今回が初です。

**門井** 澤田さんという強力なライバルが近代に来たのは、マーケティングという点では非常に困ると（笑）。

**澤田** どうぞ古代に来てください（笑）。私はこの世界に入った時、同じ大学、しかも同じ文化史出身の先輩の作家がおられたのは非常に心強く、ありがたいと思いました。歴史小説は同じ材料を扱っても、作家によって書き方が全然違います。門井さんとは、相互に緩やかに影響し合う関係だと思います。なので、門井さんがご自身の読者を連れて古代小説に来てくださると、こちらの世界も新しい風が吹いて盛り上がります。

**門井** 澤田さんは同じ大学を出た作家同士で、同じ方向を見ている良きライバルです。そういう人が同時代にいるのは本当にありがたいことです。

**植木** 小説に取り上げる、それぞれの時代の魅力はどこにありますか。

**澤田** 古代は知らないことが多いところが、非常に楽しいです。史料のない部分を想像で埋めていき、ひょっとしてこうだったのかなと書きながら掘り起こしていける楽しさが、古代史小説かなと思います。今回書いた明治・大正時代は、現代と歴史との汽水域みたいな感じです。過去だけ過去じゃない、手を伸ばせば

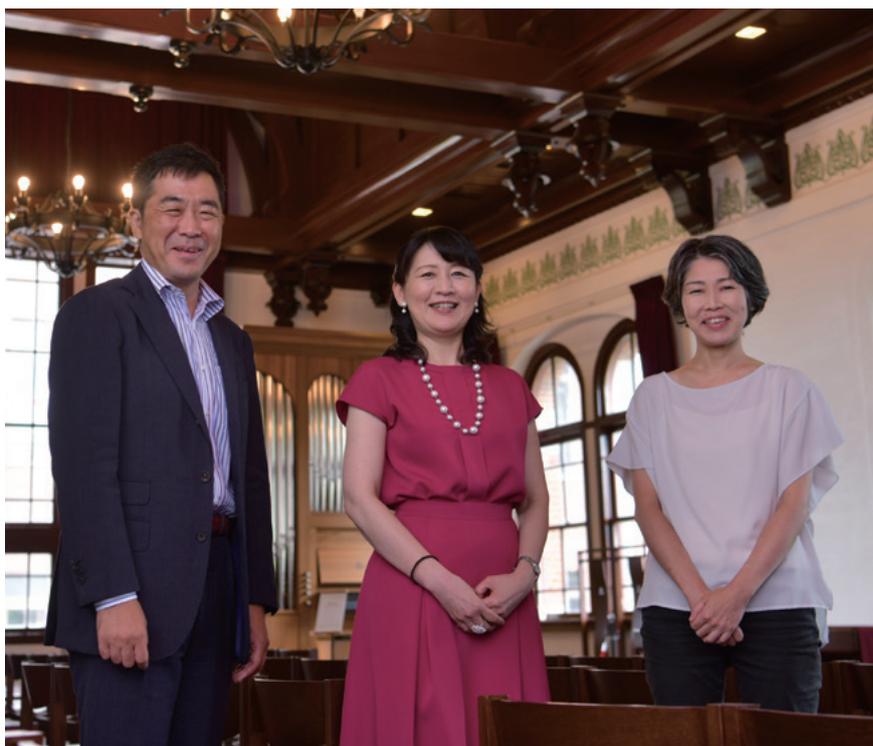


届くような、けれども過去でもあり現代のようでもありという、なまめかしさみたいなものが近代の魅力だと思います。

## 探究心と 学ぶ姿勢の育て方

**植木** 澤田さんの『若冲』『星落ちて、なお』は絵画の世界、門井さんの『家康、江戸を建てる』だと土木・建築などの理系分野、『銀河鉄道の父』では石の話題も出てきます。近年、大学では教養教育の見直しを進めています。学生は自分の専門分野に近い科目を選択する傾向があるので、もっと幅広い教養を身につけてもらうための見直しです。お二人はどのようにして教養や関心の幅を広げてこられたのですか。

**門井** 数学・物理の点数が良かったわけではないんですが、家康の話なら、なぜ家康は江戸を造ったのか、なぜ川を曲げ



てしまったのかと考えるのは好きなわけです。その好きなことを深く知ろうと思ったら、絶対に他の分野にも行かざるを得ないはずなんです。僕はその「行かざるを得ない」の連続に関心を広げました。好きなものを追究しようと思えば、自ずから関心は広がると思います。

**澤田** 日々の暮らしの中で「あれっ」と思う瞬間があれば、それは新しいことに触れていく窓口です。その興味を持ち続けておくと、そこから次の、思いがけない世界が広がってくる。いま私は平安時代の、富士山噴火の小説を書いています。中学時代、長野まゆみさんという作家が大好きで、その方が地学系の作品を多く書いておられました。長野さんの作品を読むうちに地学がどんどん好きになった。でも内部進学する時に地学がなかったので、小説の道に來たわけです。

**門井** 人間の知性にとって「純粋に新しい」ということはありません。もともと関心を持っているから目が行くのであり、そこには必ず何かの繋がりや引っかかりがあるはずなんです。

**澤田** カレーライスをすごく好きな人が、食べるだけじゃなくてどうやって作るのかなと思ったとき、カレーライス作りにはまり、そこからスパイスにはまってしまうというように、興味は無限大に広がっていくと思います。

**門井** 舌で感じる辛味に興味を持てば、

生化学へ進んだりとかね。

**澤田** どの方向が正しいとかいうことではないんですよね。

## 想像力と 「耐える努力」が 人生には必要

**植木** 興味の分野のお話が出ましたが、理系重視の傾向を感じる現代、歴史離れが指摘されています。一方でコロナ禍において、歴史に学ぶべきという流れも、やや出てきました。澤田さんの『火定』は奈良時代の天然痘の流行についてのお話ですが、あまりにも今の状況と同じなので、カミュの『ペスト』などと共に、感染症文学として改めて注目されています。しかしまた、偏った歴史認識の広まりも危惧されている。このような現状を、お二人はどうご覧になりますか。

**澤田** 人間の歴史は螺旋階段のようにグルグルと回り、同じ所に戻ってくる瞬間があるのかなと、最近思うようになりました。時代が変わって論理的な考え方をするようになって、対処するのは同じ人類です。そして我々自身も歴史の一部で、いま螺旋階段の途中にいて下を眺めている。でも、特にこの2、30年で非常に世の中が情報化され、かえって昔のことを想像しづらくなったのかなと思うと、人間に大事なのはやはり想像力だと思う



かどいよしのぶ  
**門井 慶喜**さん

1971年、群馬県生まれ。同志社大学文学部文化学科文化史学専攻(現 文学部文化史学科)卒。

2018年、『銀河鉄道の父』(講談社)で第158回直木三十五賞を受賞する。

のです。例えば社会的弱者や新型コロナウイルス感染症患者の方に対する眼差しを考えたとき、自分と関係ないと思うのは簡単です。そこでほんの少しの想像力を働かせて自分に置き換えて考えれば、次に取るべき行動も分かるのではないのでしょうか。

**門井** 文学部の勉強は役に立たないと言う人がいますが、それはお眼鏡違いです。文系もしくは文学部の勉強は、役に立たないのではなく、役に立つのに時間がかかるのです。だから我々は、すぐに答えを求めるのは危険な行為だと思わなければいけない。理系の勉強も同じです。

**植木** 基礎研究がそうですね。

**門井** はい。新型コロナウイルスにしても、ウイルスやワクチンの基礎研究がずっと行われてきたからこそ、短期間でワクチン開発が可能になりました。理系文系に関係なく、すべての学びは役立つのに時間がかかる。歴史認識もそうです。我々は耐える強さを持ちたいものです。

## 執筆作業は 家の建築に通じる

**植木** 非常に励まされるお言葉です。いろいろな立場の人への想像力、今すぐに役立つことだけを求めないという姿勢は、お二人の作品から強く感じられるところです。次は、日常の創作活動について伺います。小説の調査と執筆は、どういふふうに進めていかれるのですか。

**澤田** これを書きたいと漠然と思ったとき、すべての関係資料や論文を集めて徹底的に読みます。するとその中から必ず、面白い事件や人物という「鍵」が引っかかる。その鍵から掘り進め、取捨選択を繰り返しながらどんどん広げていきます。

**門井** この人を書く決めてたくさんの資料を集めるころまでは同じですが、ある程度読んで、「行ける」と思ったら書き始めます。書きながら調べ、調べつつ書

くタイプです。僕の場合、最初にあまり頭に情報を入れてから書くと、説明くさくなって小説の冒頭が重くなる。

**澤田** 私も途中で薄い部分や屋根が傾きそうな部分に気づくと、また心張り棒を立てる感じです。

**植木** 論文を書くのも似ていますね。あまり多くを読みすぎると新しい発想ができないので、私は資料をほどほどに読んだら書き始めます。たまに予期しない方向へ行くこともあります。

**門井** 特に登場人物の人間関係などは、終わってみて最初の目論見通りになったことは、たぶんだいぶんないですね。ラストでこんな関係になるだろうなという見込みはあっても、見込み通りに行くとは人工的に見えてしまう。自然に任せる方がいい。

## 学生時代の「好き」を 大切に持ち続けよう

**植木** お二人の執筆活動の基礎になる歴史研究の方法は、やはり同志社大学での学びが不可欠だったのだろうと拝察します。改めて文化史学専攻での学びが今にどう生きているのか、あるいは学生時代のエピソードなどを教えてください。

**門井** 文化史での学びは、小説を書く作業とは正反対のものです。想像力を働かせる前にたくさん資料を見て辞書を引き、一言一句を疎かにするなという教育を受けてきました。でも、そういうゼミや授業の時間が終われば、ただの本好きの集まりでした。すごくいい環境だったなと、感謝と共に思います。

**澤田** 私は大学の能楽部で金剛流の能に取り組んでいました。そこで謡のリズムや言葉の美しさを肌で感じられたことが、小説を書く上で一番の基礎になっています。文化財や遺跡がすぐ手の届く所にあるという距離感も嬉しかったですね。

**植木** 最後にお二人から、同志社で学ぶ学生たちへのメッセージをお願いします。

**門井** 京都にはすごい密度で文化財や博物館、美術館があります。京都にいる間にそれらをたくさん見ておくと、将来何をやるにしても思い出や勉強になります。コロナ禍で出かけにくいなら、身の回りの物に注目してみるといい。人間は人について考えるのは比較的容易ですが、モノについての興味はあまり持続しません。たぶん意図しないと身につかない習慣です。モノとは文化財でもいいし、カレーライスでもいい。テーマを一つ持って見続けると、新しい知の世界への取っかかりになります。

**澤田** 世の中では何でも仕事にできるということが、私は大人になって分かりました。それぞれの「好き」を掘り下げていけば、そこで生きていく道も見つかる。ご自身の「好き」を否定せず、大事に持っておいてほしいなと思います。

**植木** 最後は学生への励ましの言葉として受け止めました。本日は本当にありがとうございました。



さわだ とうこ  
**澤田 瞳子**さん

1977年、京都府生まれ。同志社大学文学部文化学科文化史学専攻(現 文学部文化史学科)卒、同大学院文学研究科博士課程(前期課程)修了。

2021年、『星落ちて、なお』(文藝春秋)で第165回直木三十五賞を受賞する。



### 直木賞とは？

正式には「直木三十五賞」。同時に発表される芥川賞は芸術性の高い作品に贈られるのに対し、直木賞は大衆性の高い作品に贈られる。同志社大学校友では、他に第44回黒岩重吾氏、第140回山本兼一氏も受賞。

# Seminar



経済学部

## 自ら動いて考える力、 論理的に他者を説得できる力、 データ分析力を養い、 仲間とともに成長する



こばやし ちはる  
**小林 千春ゼミ**  
経済学部教授

経済学部では2年次演習、3年次演習、卒業研究と演習が続きますが、私のゼミでは、企業・産業に関する経済分析を主な演習テーマとしています。

例えば3年次演習では、全世界上場企業データベース(OSIRIS)から企業データを取得し、国際比較分析に取り組みます。今年度は各班が電子部品産業(日本・中国・台湾)、ゲーム産業、ビール産業、インターネット販売を選択し、10年分の財務指標(ROA、ROE等)を計算したうえで、考察を行いました。3年次秋には統計分析ソフトを用いてデータ分析(回帰分析、因子分析等)を行い、論文報告会にむけて論文を作成します。4年次には各自実証分析を行い、卒業論文を執筆します。これらの学びでは、専門性や一定のデータ分析力を養うことを主な目的としています。

私のゼミの特徴の1つとして専門的な勉強だけでなく、ビジネスプランコンテスト等に参加している点が挙げられます。2年次にキャンパスベンチャーグランプリ大阪、3年次には経済学部ビジネスアイデア大会・ディベート大会にゼミ生全員が参加します。大丸京都店様にご協力いただいた今年度ビジネスアイデア大会では1、2位を獲得しました。1、2位のプランは大丸きょうとっくがくえんで実施されるため、学生たちは実現に向けて動いています。これらの活動を通して、自ら動いて考える力、論理性を持って他者を説得する力、プレゼンテーション力等を養ってほしいと考えています。

### 〈ゼミ生の声(西岡 志保さん)〉

2年生の春学期までは単調な大学生活でしたが、ゼミに入り大学生活が有意義なものに変わりました。今年の春学期は、以下に取り組みました。

第1はOSIRISを用いた産業分析で、自分達が興味を持つ業界について財務分析することで専門的な知識が得られただけでなく、就職活動における企業研究にも繋がりました。

第2はビジネスアイデア大会です。私の班は優勝することができ、かけがえのない経験になりました。先生と先輩方からのアドバイスのおかげでより良いプランになったことに加え、その過程で多くのことを学び成長できた実感しています。

様々な経験により自身の成長を実感することで向上心を持つことができ、刺激のある大学生活になりました。これからも先生のご指導の下、仲間とともにゼミ活動に取り組んでいきたいです。



商学部

## フューチャー・デザイン： 行動経済学×テクノロジー ×ビジネス



たぐち さとし  
**田口 聡志ゼミ**  
商学部教授

田口研究室の大きな狙いは、行動経済学的手法を用いて「人間心理」と「世の中の仕組み」との関係进行分析し、未来のビジネスの処方箋作りを目指す点にある。特にここ数年は、「テクノロジーと人間の共存」を大きなテーマとして研究を進めている。新しいテクノロジーが経済やビジネスに与える影響は計り知れないが、特にCOVID-19問題を背景に、企業のDX化が一気に加速するなど、その波はより大きくなっている。他方で、人間の業務がAIに取って代わられる可能性があるとも言われ、テクノロジーと人間が共存しうる経済社会の構築や、新しい企業組織のあり方の検討は喫緊の課題といえる。そして、我々は、このような課題を研究の力で解決しうるような高い専門性を持った研究者集団を目指しており、教員・院生・学部生が一体となって日々研究に取り組んでいる。

また、田口研究室では、学部生も、学年を超えたグループを組み、学会や研究カンファレンスに論文投稿をすることを義務付けている。たとえば、過去には以下のようなテーマで論文投稿や学会報告をおこなっている。

「AI人事採用における納得阻害要因の解明に向けたサーベイ実験」

「フィルターバブルを回避するナッジの考案」

「ファクトチェックアラートの有効性の検証：AI時代における誤情報拡散防止の取り組み」

「価値共有が及ぼす生産性向上への影響：AIと人との共同の観点から」

「購入制限が買い占め行動に及ぼす影響」

### 〈ゼミ生のコメント〉

「とても個性的で、あたたかい雰囲気ゼミです。」「自分が成長する上でとても良い環境だと思います。メンバーと協力して論文投稿という学部の間ではなかなかできない経験を得ることができるとともに、個人としても新しいことにどんどんチャレンジできる、素晴らしいゼミです。」「研究も遊びも一生懸命やるゼミで、遊ぶときは遊ぶ、研究するときは研究するといったように、とてもメリハリがあって、笑顔が絶えない素晴らしいゼミです。」「ゼミを一言で表すと『自主性』です。」



理工学部

## 超音波で見る、測る、動かす



超音波エレクトロニクス・  
応用計測研究室

こやま だいすけ  
**小山 大介**

理工学部教授

1949年に同志社工業専門学校が同志社大学工学部（現理工学部）となった1年後、工学部の第一期卒業生が斎藤亥三雄先生指導の下卒業研究を開始し、「音響工学研究室（発足当時は斎藤研究室）」はスタートしました。その後ト部泰正先生就任を機に「音響・計測工学研究室」へと名前を変え、1994年に工学部が今出川校地から京田辺校地に移転するに伴い、研究室名を新たに「超音波エレクトロニクス・応用計測研究室（学生の間では「超エレ研、超音波研」と呼ばれています）」に改名し現在に至ります。この様な経緯で当研究室は本学理工学部の中では最も長い歴史を持ち、親子で同じ研究室出身（！）というケースもあります。教員は斎藤先生、ト部先生の後、1961年に大谷隆彦先生、1981年には渡辺好章先生が就任し、2021年現在では松川真美先生と筆者の2名が担当しています。現在この2人の教員に加え、大学院生23名、学部4年18名が在籍しています。コロナウイルス流行以前は、研究室にほぼ毎年本学協定校からの外国人留学生が在籍することが多く、英語を苦手とする日本人学生にとっても良い刺激となっています。

研究室の名が示す通り、研究テーマは超音波計測技術の開発と超音波の工学的応用に重点をおいており、現在基礎研究から実用化を目指したテーマまで国内外の多くの国立研究機関、大学、企業と共同研究を行っています。学生が行う各研究は一人一人独立した研究テーマであり、2021年度は計測班、骨班、バイオ班、デバイス班の4グループに分けて実施しています。いずれの研究テーマも基本的には超音波を利用したデバイス、計測技術に関連しており、毎年学生が中心となって得た研究成果を国内外の学会にて数多く発表しています。4年次に当研究室に配属される新人には、毎年センサ大会と称して自身の卒業研究でも使用する超音波センサを作製してもらっています。金属棒の旋盤加工から始まり、センサ表面の研磨、圧電膜の接着、電極の真空蒸着などの工程を経てセンサを自らの手で作製することにより、研究一年生にとって自身が研究で使用するセンサがブラックボックス化することなく、その構造・原理について身をもって学ぶことができます。「超音波」と聞くとすぐに関心を示す幾分雑食傾向がありますが、これからは電気電子工学、材料工学、生命医科学など幅広い分野を横断しながら研究を行って参ります。



心理学部

## ありふれた心の働きに疑問を抱くことができ、科学の視点で分析・解釈できる人材を育成する



たけはら たくま  
**竹原 卓真**ゼミ  
心理学部教授

ゼミでは、私の専門領域である人間の「顔」を看板に認知心理学的な研究活動を行っています。一口に顔と言っても、顔から出力される感情、魅力や誠実さといった社会的特性、年齢情報など、ターゲットとなる研究対象は多種多様です。しかし、顔は誰もが毎日目にする当たり前でありふれた対象物であるがゆえに、そこに疑問（研究の問い）を見出すことは簡単なことではありません。

そこで、3年次のゼミ生には学部1年次で学んだ手法を思い出させ、顔研究にこだわることなく、当たり前で誰も疑問を抱かないようなものから学術的な問いを導き出すトレーニングを繰り返します。その際、ゼミ生が出すアイデアを決して否定せず、必ず肯定的に評価します。なぜなら、どのようなアイデアであったとしても、それが後になって重要な発見の礎になる可能性が大いにあるからです。そして、問いの導出が深化してくると、徐々に顔研究における問いに近づけ、議論を深めます。議論する際、ゼミ生から出てきたアイデアがさらに広がるようなコメントをすると、どんどん新しいアイデアが出てくるようになり、ある程度時間をかければ多くのゼミ生が興味深い卒業研究のテーマを設定することに成功します。

そして、実験を通じてデータが手に入れば、統計解析をもとに研究の問いに対する答えおよびその根拠を、ゼミ生と共に考えます。この時注意するのは、結果の解釈にバイアスがかからないようにすることです。予測どおりの結果が得られたらゼミ生は喜ぶのですが、勢い余って合理的でない解釈をしてしまうこともよくあります。科学として論理的に解釈できるのはどの範囲までなのか、またどの解釈から合理的でなくなるのかなど、基本に立ち返って議論を重ね、卒業論文執筆につなげます。

学生は皆、なにごしかの研究トピックに興味を持って入学してきます。しかし、レポートや試験という辛い経験のために、その興味が失われることもあります。私は、まずゼミ生に入学時の興味を思い出させ、次に卒業研究は辛いものではなくて、興味を形にできるとても楽しい作業なのだという経験をしてもらい、最後は「楽しかった」という気持ちで卒業して欲しいと毎年願っています。

# 「イキモノ」のような言語生態の解明を目指し 学際的連携を推進するプラットフォームを提供

あらゆる言語は、自律性・変異性・伝播性・混合性という、まるで「イキモノ」のような4つの性質を持っている。この言語の生態を正確に捉え、研究するためには、情報科学や生物学といった異分野と連携しデータサイエンスを取り入れた新しいアプローチが求められる。言語生態科学研究センターは、言語生態を総合的に解明する中核的研究拠点として、異分野の研究者が出会い、協働できる学際的な研究プラットフォームを提供。分野連結による研究プロジェクトを推進し、牽引する。



言語生態科学研究センター

研究センター長

**沈力**

【文化情報学部 教授】

中国天津市生まれ。1994年京都大学大学院文学研究科言語学専攻博士後期課程修了。同志社大学言語文化教育研究センター勤務を経て、文化情報学部へ。専門は言語の仕組みを解明する理論言語学で、国立国語研究所の共同研究プロジェクトにも参加。とりわけ近年は、地理情報科学と比較言語学の手法を用いた言語変化の研究に注力。「地方の方言ほど価値があるので、沖縄や九州、東北出身の学生が来ると喜んで付き合いたくなります(笑)」。

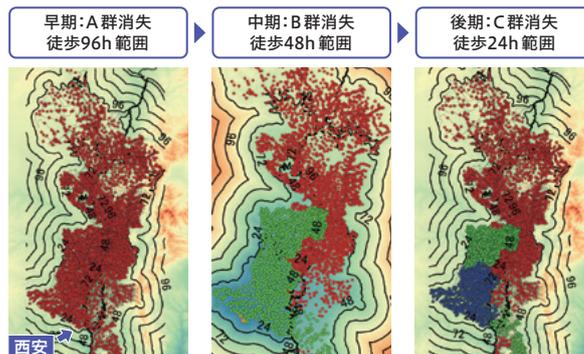


## 言語生態をデータサイエンスで解析 課題解決の新たな方法論を開拓する

言語には、話者の意志とは無関係に文法を形成する「自律性」、時間経過に伴って変化する「変異性」、離れた場所へ広まる「伝播性」、異言語と融合する「混合性」という、イキモノと同様の4つの側面がある。しかし伝統的な言語学の調査・分析ではこれらの複雑な性質を把握しきれず、いくつかの側面は看過されてきた。「言語生態を総合的に捉えるには、方法論も模索せねばなりません。他分野の知見も必要です。本センターが多様な領域の専門家が結集する文化情報学部を設置された意義もそこにあります」とセンター長の沈力教授。中でも現代情報科学、データサイエンスは言語学の研究に非常に有効だという。例えば、黄河流域の漢語方言の研究では、4000もの村から収集した膨大な方言データの解析に地理情報システム（GIS）を活用。人口密度や徒歩コスト、交流度との関連性を地図上にモデル化し、言語の時空間の変遷メカニズムを解明した。「GISを用いる方法論は、時空間情報システムを活用する文化人類学から学び、人間の接触度・交流度の計算モデルは生物学から学びました。異分野との協同を通じて、言語のさまざまな側面をどのような手法で扱えばいいのかが見えてきました」。

## 多角的な視点で言語生態の実相に迫る 学際的プロジェクトが進行中

「言語生態の解明」を軸に学際的な研究プラットフォームを目指す本センターでは多様な共同プロジェクトが稼働している。沈センター長が中心となる言語類型論では、日本語、中国語、アメリカ先住民言語など異なる言語タイプにおける「語」の比較検証にデータサイエンスを利用。「従来、多くの言語学者が『語とは何か』という問いを掲げてきた。9月に開催したシンポジウムでは、言語タイプに依存しない語の顕著な特徴について議論した。今後は語の普遍的性質に迫りたい」と沈センター長は意気込む。また、一研究員が中心となるテキストマイニングでは、大量の言語テキストをデータサイエンスによって処理し、人間の言語使用における癖や傾向を指紋のように浮かび上がらせることに成功。昨今、社会問題となっているSNSでの誹謗中傷や脅迫メールの分析といった、ネットトラブル対策・犯罪捜査への応用も視野に入れる。その他、音声学者と協同し音楽解析の方法論を用いて民謡のメロディと方言のプロソディとの一致性を探る取り組みや、生命学者と協同しDNAをたどることで種族のルーツと言葉のルーツを追う壮大な国際プロジェクト（フランス・中国・日本）への参加など、様々な形で共同研究を進行している。「生物学の先生からは『生物が勢力を広げるのは生きるため。言語はなんのために広がるのか』と問いかけられました。拡大には動機がある



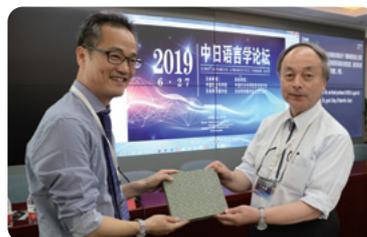
秦晋黄河流域の諸方言の「声調」の存亡を視覚化。西安を起点に広がった言葉はかつて三度変異し、遠い場所ほど古い方言が残ることがわかる。

という生物学の基本的な考え方は、言語の伝播にも通ずる部分があるのではないかと。この問いは今後、言語生態の解明において重要な鍵となるかもしれません。

## 専門領域の壁を打ち破り成果を出す 開かれた拠点から発信を続ける

2018年9月の開設以来、本センターは言語学研究に「生態」という新しい視座を与え、多くの足跡を残してきた。2019年6月、日本学術振興会（JSPS）と中国社会科学院（CASS）主催の「2019日中言語学シンポジウム」で言語伝播メカニズムの研究発表が行われた。会場ではトップレベルの言語学者による活発な意見交換がなされ、大きな反響を呼んだ。中国黄河流域の村々から収集した貴重な方言資料は「黄河流域諸方言データベース」にまとめられ、本センターのHPで公開している。教育カリキュラムにおいても、言語研究とデータサイエンスをリンクさせる方法論について学ぶプログラムを実施。今後の言語研究に不可欠な情報科学のスキルを持ち、領域に縛られず柔軟に思考できる後進を育成している。「異分野から学び、今の研究にどう役立てるのか。自ら考え続けることが大切です」。

本センターは昨今の細分化された研究領域の壁を破ることを設立目的の一つとして掲げている。「これまで言語に関心のなかった数理系や人文・社会系の専門家が、このセンターをきっかけに言語学者と手を組み、多角的な視点を持つ研究チームを作ることができれば」とセンターの存在意義を強調する沈センター長。「そのためにも本センターを拠点に発信し、交流し、接点を探りたい」と意欲を語る。



2019年6月に北京で開催された「2019日中言語学シンポジウム」にて研究成果発表。日中の人文・社会科学分野の研究者と交流を深めた。

# 来年度就職を目指す皆さんへ

## コロナ禍での就職戦線を 戦い抜く心構えを

来年度就職を目指す皆さんが気になるのは、コロナ禍で、自分たちの就職活動が厳しくなるのかどうかだと思います。この点については、悲観しすぎる必要はありません。日本国内では労働人口が減少し続けていることから、コロナ禍でも採用に熱心な企業が多くあります。また、コロナ禍で業績が悪化する企業がある一方で、リモートワークの推進等の背景を受けて業績を伸ばしている業界・企業もあります。

大切なことは、「早めの準備と幅広い視点を持つ」、「あきらめず粘り強く取り組む」、「自分で考えて決める」の3点です。

キャリアセンターでは、様々な就職支援プログラムや個別相談で皆さんの就職活動をサポートしています。就職活動は情報戦です。キャリアセンターを積極的に活用しましょう。

## 就職を取り巻く状況と キャリアセンターの支援について

ここからは、本学の現4年次生・大学院2年次生の就職活動の状況と、キャリアセンターが実施する現3年次生・大学院1年次生向けの就職活動支援について説明します。

### 現4年次生・大学院2年次生の 状況について

現4年次生・大学院2年次生である2022年4月採用の就職活動は、前年と同様に、企業の採用活動のうち、広報活動が「3年次生の3月」から、選考活動が「4年次生の6月」から開始のスケジュールとなりました。新型コロナウイルスの影響のため採用を中止・縮小した業界・企業も一部ありましたが、採用活動は全体として早期化しました。コロナ禍2年目の採用活動となり、多くの企業でインターンシップや説明会、面接等の採用活動がオンライン中心に実施されました。

キャリアセンターでも、就職活動の早期化とオンライン化に対応するため、昨年5月のインターンシップに向けた準備ガイダンスを皮切りに、新規を含む様々な支援プログラムを開催しました。就職ガイダンスや基本セミナー、個別相談等はWEBでも開催し、実家や遠方にいる学生も参加できるようにしました。

また、業界・企業理解を深めるために、2020年10月末から2021年3月初旬に、延べ約1400社が参加するWEBの企業説明会（業界・企業研究セミナー及び企業採用説明会）を開催しました。説明会の内容はオンデマンドでも配信し、説明会には300名を超えるOB・OGが参加、後輩へのアドバイス等をいただきました。

就職活動中の学生を支援するため、今年の6月以降学内で選考会を実施するWEB企業採用選考会を定期的に開催、4年次生・大学院2年次生対象の就職活動支援特設ページを開設し、採用継続

中の企業の求人情報を積極的に提供するなどの支援を行っています。

### 現3年次生・大学院1年次生向けの 就職支援について

新型コロナウイルスの影響による就職活動スケジュールの混乱や、選考の早期化・長期化、採用に直結したインターンシップが増えている現状に対応するため、3年次生対象のガイダンスを昨年度から大幅に前倒しして、3月下旬と4月初旬に実施しました。学業の優先を前提としつつ、就職活動への早期からの準備を促し、インターンシップ参加に向けてのセミナー、エントリーシート・面接対策等を実施、参加を希望する企業への積極的な挑戦を後押ししました。

また、学生の活動開始時期が多様化していることから、今年度から1年間を4つの時期に分け、各時期に、ガイダンス、セミナー、ワークショップ等を開催、学生が就職活動をいつから始めても対応できるように、必要な知識やスキルが身に付く体系的なパッケージを用意しています。各プログラムはオンラインで開催し、キャリアセンターホームページ上でオンデマンド配信も行っているため、いつでも視聴できるようにしています。

また、就職活動の早期化に伴い、インターンシップの重要性が高まっているため、関西の有力企業に協力いただき、夏期休暇中に、同志社大学の学生のみが参加できる同志社限定インターンシップも開催しました。

コロナ禍により、就職を取り巻く環境が変化していますが、就職環境の良し悪しに関わらず、皆さんが企業にアピールすべきことは、主に、根拠に裏付けされた皆さんの強みと、企業への熱意の2点です。また、皆さんが知っている大手企業や有名企業の多くは、就職環境に関係なく、常に「厳選採用」であることを覚えておいてください。大手企業や有名企業には、全国から何千万人もの学生からのエントリーがありますので、全員が面接選考までたどり着くことはできません。まずは、エントリーシートで自身をアピールすることが重要です。キャリアセンターで実施するエントリーシートセミナーや講座に参加し、まずは自分らしいエントリーシートの書き方を身につけてください。

来年2月中旬から3月初旬には、約700社の企業を招聘し、企業理解を深めるWEBの学内企業説明会を開催予定です。学外で開催されるセミナーと異なり、学内セミナーは、同志社大学生だけのために多くの企業が参加いただける点が大きな魅力です。現時点で興味がある業界・企業だけではなく、幅広い業界を見て比較し、職業選択の幅をできるだけ広げてください。

特に、皆さんが知っている企業は、一般消費者向けのビジネスを展開するB to Cの企業が多いですが、日本には、企業向けのビジネスを展開するB to Bの企業が数多く存在します。B to Bの企業の中には、世界でトップシェアを誇るような企業が多くあります。知らない企業でも、ぜひ積極的に情報収集をしてください。

キャリアセンターでは、皆さんからの個別の相談にも対応しています。相談という身構えてし

まうかもしれませんが、就職活動について話を聞いてほしい、考えを整理したいので誰かと話したいといった際にも気軽に利用してください。多くの先輩たちも、就職活動の進め方や、エントリーシートの書き方等様々な相談をしています。

就職活動では、一見すると明確な数値や基準のない中で採用・不採用が決まります。自信をもって提出したエントリーシートや履歴書が通過しない時や、手ごたえがあった面接が不合格だった時は、自分自身を否定されたような気持ちになるかもしれません。落ち込んだ時は、一人で悩まずにキャリアセンターを大いに頼ってください。

## 企業の求める人材

経団連が実施したアンケートによると、企業が新卒採用時に重視する能力の1位は、毎年「コミュニケーション能力」です。2位以下には、「主体性」、「チャレンジ精神」、「協調性」が続きます。企業が新卒の学生に求める力は、「コミュニケーション能力を有しつつ、自ら主体的に行動し、実行する力」と集約できるでしょう。

コロナ禍の影響で、昨年から急増しているオンラインによるコミュニケーションは、直接対面で話すのとは異なる難しさがあります。これまで以上に相手の意見を傾聴し、そのうえで自分の意見を伝えることが重要です。今年も多くの企業でWEB面接が実施されましたが、通信が途中で途切れてしまう、音声聞きづらい、カメラが機能しない等、様々な問題が起きました。面接の緊張感が加わって、パニックになった学生もいました。トラブルに柔軟に対応できるように、事前にPC操作に習熟しておく等の準備をしてください。

また、コロナ禍でリモートワークが増え、職場で仕事をしている時よりも仕事の全体像が見えにくい状態にあります。指示を待つだけの受動的な姿勢では、業務に支障が生じることがあります。これからの社会人は、これまで以上に主体的に課題を発見して、対策を考え、解決に向け挑戦し、業務を遂行する力が求められます。

## 最後に

採用選考の過程では、学生時代に力を注いだエピソードを通じて、皆さんがどのような状況でどのように考え、どのように行動したのかが問われます。しかし、コロナ禍の影響で、サークル活動、ボランティアやアルバイトが大きく制限されるなか、何をどのように伝えるのが難しくなっています。

大切なのは、何らかの目標を達成したという結果ではありません。目標を達成するまでにどのような努力をしたのかというプロセスを具体的に明確に伝えることが重要です。プロセスの中に、皆さんの強み、人間性、価値観、能力等が表れるからです。

「早めの準備と幅広い視点を持つ」、「あきらめず粘り強く取り組む」、「自分で考えて決める」の3点を意識しながら、自分を信じて前向きに就職活動に取り組んでください。

# PLACEMENT 2022

## 今年度就職活動をした先輩からのメッセージ

(「2021年度 就職に関するアンケート」から)

**分** からないことが多いと思うので、先生や先輩またはキャリアセンターなどを上手に活用すると思いました。(理工学部)

**初** めは業界や職種を絞らずに広く企業を見ることが大切だと思う。その中で自分が惹かれる人や興味を持った事業を分析していけば、おのずと自分に合った企業が見えてくると思う。早くから就職活動を始めることで、このように広く業界を見てから絞っていく余裕もできるので、とにかく早く動くことが重要。(理工学研究科)

**気** になる業界・気になる企業があるならとりあえず受けてみる。「やりたい仕事」も現在の見識の上に成り立つもの。就活を通じて変わる可能性もあるから視野を広げて！(理工学研究科)

**熱** 意をアピールすることがなにより一番!! そのために企業研究!! 他社比較!! (特に同業界の他社比較は半端なく大切だと思います)(生命医科学部)

**早** め早めの行動が大事です! どんどん主体的に行動してください!(生命医科学部)

**就** 職活動の準備(自己分析等)が早ければ早いほど、自分はどんな仕事がしたいのかという軸が決まって活動しやすいと思うので、早めの準備が大切かなと思います。(法学部)

**有** 名企業もそうでない企業も、偏見なく、たくさん企業のことが成功の鍵となると思います。(法学部)

**公** 務員試験では筆記試験をメインに考える人も多いが、同時に早い段階から自己分析など面接対策も進めていくことを強く勧めたい。(法学部)

**自** 己分析は本当にしっかりやった方がいいです。あと、過去の自分のことももちろんですが、自分が社会人になって何をしたいのか、どんな人間になりたいのかという先のことを考えるのも重要だと思いました。(文学部)

**諦** めずに頑張れば、その頑張りを評価してくれる企業・団体があります。就職活動がうまく行ったことを勝ちとするならば、「すぐ就職先が決まる=勝ち」では必ずしもそうではありません。入社日までにいきたい企業・団体から内定を貰うことが勝ちなのです。最後までとことん自分の本当にしたいことに向き合いながら就職活動を頑張ってください。(文学部)

**就** 活は早くから取り組んだもの勝ちだと思います。持久力勝負です! 面接やエントリーシートでうまくいかなくても合わなかったけどすぐ切り替えて次にいきましょう!(文化情報学部)

**S** PIなどの勉強はできるだけ早くから始めた方が時間に余裕が出来て良かったと感じました! 私はギリギリになってやり始めたのでこの点については反省です。インターンシップに参加することによって後々早期選考にのることが出来たり、志望理由に説得力が増すと思うので気になる会社があれば参加してみるのをおすすめです! 自分のペースで無理せず頑張ってください!(政策学部)

**色** 々な人に支えてもらったり相談したりは大いにした方が良いですが、その一方で、自分自身の将来の事なので、自分自身が納得するか、胸を張って頑張ったと言えるような活動をするを目標にすると苦しみは少なくなると思います。(心理学部)

**自** 分がどのような仕事がやりたいか、その仕事をするためにどんな経験してどのように仕事に活かせるのか。ここに一貫性があり、面接でも自分をアピールできれば問題ないと思います。(商学部)

**早** 期選考は今後ももっともっと増えていくと思うので、それに乗るために、インターンにはなるべく参加した方がいいです。(経済学部)

**早** めに就職活動を始める事は非常に大切ですが、次の2点は絶対に避けて下さい。1点目は、インターンシップの可否に一喜一憂する事。2点目は、インターンシップに参加する事が目的とする事。就職活動はあくまで本選考が軸です。インターンシップに参加できたから内定を頂けるわけではないです。私はインターンシップに参加するだけで、自己分析を疎かにしてしまった事が大きな反省としてあります。インターンシップへの参加、OBOG訪問と共に自己分析を入念にして、本選考での面接に備えて下さい。(経済学部)

**就** 職活動は、うまくいかない時も少なくないですが、自分を信じて、行動を続け、後悔のない決断をしてください。(経済学研究科)

**今** の時代は働き方が多様化しているので、「企業に就職する」という考えだけではなく、様々な働き方を知った上で「自分のしたいこと、やりたいこと」を見つけていくのが良いと思います。(スポーツ健康科学部)

**人** 生のかかっている就職活動なので本気で集中する必要があります。しかし、学生のうちしかできない、同志生生のうちしかできないご縁づくりを大事にしてほしいとも強く思います。(グローバル地域文化学部)

### 今後開催する 主な支援プログラム

2021年度のプログラムは基本オンラインで開催しています。(今後、一部対面式で開催する可能性があります)こちらに掲載していないセミナー・プログラムもあります。

詳細は、キャリアセンターホームページ、キャリア支援システム「e-career」、キャリアセンター掲示板を随時確認してください。

セミナー名	開催時期
就職ガイダンス	9月、12月、2月
基本セミナー(自己分析、エントリーシート、面接)	9月、12月、2月
ワークショップ(エントリーシート、面接)	開催中~2022年6月
業界・企業・職種研究パネルディスカッション	10月~12月
学内企業説明会	【理系】2022年2月14日~18日 【文理合同】2022年2月21日~3月4日 ※2022年6月以降も開催予定
内定者座談会	11月中旬~2022年1月中旬
U・Iターンセミナー・自治体相談会	11月15日、16日
公務員・公立学校教員業務説明会	12月

●開催が終了したプログラムについては、キャリアセンターホームページから視聴可能です。

<https://e-career.doshisha.ac.jp/shushoku/saishin.html>

※本学在学生のみ視聴可能です。※一部のプログラムは動画配信は行いません。

キャリアセンターホームページ

<https://career-center.doshisha.ac.jp/>

「e-career」

<https://e-career.doshisha.ac.jp/portal/>

●学部3年次生・大学院1年次生を対象とした特設ページを開設しています。

就職活動に関する様々な情報を掲載していますので、対象年次の方は確認してください。

[https://career-center.doshisha.ac.jp/subject/f3\\_g1.html](https://career-center.doshisha.ac.jp/subject/f3_g1.html)

### 個別相談について (対面・WEB・電話)

キャリアセンターでは、経験豊かなキャリアアドバイザーやキャリアセンタースタッフが、進路や就職活動に関する悩みや疑問等の相談に対応します。

相談方法は、対面・WEB・電話から選択できます。相談を希望の場合は、「e-career」から予約して下さい。

### スペシャルコンテンツ

#### 「佐藤 優さんに聞く学生からの14の質問」

佐藤 優 同志社大学特別顧問(東京担当)から同志社大学1、2年次生向けにいただいたビデオメッセージ(第2弾)をYouTubeで公開しています。ぜひご覧ください。



# 同志社校友会

Doshisha  
Alumni  
Association

同志社創立から10年後の1885年(明治18年)に「アルムニ会」として発足したのが、同志社の同窓会組織である「同志社校友会」の始まりです。

## 同志社校友会2021年度の新しい体制

2021年度は新たに松岡会長を先頭に、井上前会長から引き継がれた事項を着実に推し進めるために、新体制で校友会事業を行っております。



同志社校友会  
会長  
松岡 敬

### 2021年度 同志社校友会 新体制

#### 運営委員会

運営委員会には二つの部会を設置している  
(2021年9月現在 順不同)

財務  
検討部会

新島会館  
検討部会

意思決定システムの  
透明性とガバナンスの強化

事務局体制の再構築

#### 専門委員会

7つの専門委員会が役割に応じた活動を行う(2021年9月現在 順不同)

企画  
委員会

支部活性化  
委員会

募金推進  
委員会

イベント  
委員会

国内支部交流  
委員会

海外支部交流  
委員会

広報委員会

これからの重点課題として

- 1 意思決定システムの透明性とガバナンスの強化
- 2 学生の支援
- 3 支部の活性化
- 4 大学との連携強化
- 5 事務局体制の再構築
- 6 会員への情報発信
- 7 会員の交流

の7項目を掲げて校友会を運営してまいります。

## 世界の卒業生と繋がる同志社校友会

### — 卒業後のサポート「校友会のネットワーク」を活かす —

就職や転職の情報が知りたい、就職、転職、転居が決まった。そんな時は「国内各地域・各国の校友会支部」にご連絡下さい。あなたの先輩がいろいろな情報を教えてくれます。

そして同志社を卒業した皆さんは「同志社校友会員」です。同志社校友会の催し物や、支部企画に参加してみましょう。諸先輩から有用な情報や、時には適切な人脈を紹介してもらえませんか。

同志社校友会は本部と連携した独自の支部運営によって、国内外で活発に活動を行っています。

同志社校友会のネットワークは

**国内48支部、海外36支部**に広がり、  
各支部が本部と連携しながら活動を行っています。

(2021年9月現在)

支部ネットワークHPアドレス

<https://www.doshisha-alumni.gr.jp/shibu/shibu01.html>



# 校友会活動、大学・学生支援連携を通じて同志社をサポート。 約35万人の校友会員で世界に広がる「同志社ネットワーク」。

会員情報の変更・会費についての  
お問い合わせはこちらまで

<https://www.doshisha-alumni.gr.jp/kaiin/touroku.html>  
TEL 075-251-3087 E-mail info02@doshisha-alumni.org (担当: 松澤)



## 大学・学生と繋がる同志社校友会

### 大学と繋がる 同志社大学と連携して同志社校友会ならではのサポート活動を行っています。

首都圏活性化を目的に大学と連携した「首都圏確立支援」。同志社ローム記念館プロジェクト等の「京田辺キャンパス活性化支援」。同志社フェアなどのイベントを通じた同志社大学認知拡大を目的とした「同志社ゆかりの地連携支援」。同志社大学VISION2025推進の為にサポートとして、「文理融合型リーダー育成事業支援」や「同志社大学2025 ALL DOSHISHA 募金支援」などの「VISION2025大学事業支援」。海外教育プログラム開発・運営支援などの「大学グローバル戦略支援」など、様々な事業のバックアップを大学と連携して行っています。



2018年度同志社ローム記念館プロジェクト  
中間報告会より

### 学生と繋がる 学生には次のような支援を行っています。

#### 1. 教育と学生生活のサポート、奨学金制度

「同志社校友会奨学金」「同志社スポーツ奨学金」海外留学生支援として「グローバル人材育成奨学金」など各種給付型の奨学金制度を設けることで、教育と学生生活の充実がはかれるサポートを行っています。



2019年度グローバル人材育成奨学生レポートより

#### 2. コロナ禍での学生生活に密着したサポート「学生食生活支援」

##### — 2020年度から延べ約90,000人の学生が支援を利用 —



2020年からの新型コロナウイルス感染拡大は、学生のキャンパス内での大学生活だけでなく、キャンパス外でのアルバイトの減少など、生活全体にまで多大な影響を及ぼしています。特に一人暮らしの学生は日々の健全な食生活を維持することにも大きな影響が出ています。

そこで同志社校友会は緊急時と認識し、同志社大学と連携して2020年5月から6月にかけて商店街やスーパーで利用できる食生活応援クーポンを配布したところ、延べ7,000名以上の下宿生が利用し、一人暮らしの食生活サポートを行う事ができました。学生からは「実家からコメは送ってもらっていますが、バイトもなくなって毎日困っていたので、この企画には助けられました。」「バイト先も営業休止で、この企画には助けられました。ありがとうございます。」など感謝の声がたくさん寄せられました。

これに引き続き同志社校友会は通常時の支援として学生に少しでも元気になってもらうため、新たに食生活支援として、2020年12月と2021年7月に「同志社校友会ランチプロジェクト」を行いました。学内の食堂利用時に200円の補助が受けられる支援を実施し、卒業生団体が取り組む学生支援としてNHKのニュースでも取り上げられました。アンケートでは感謝の声だけではなく、「私も将来就職して社会的地位を上げて、このように後輩たちをぜひ支援したいと強く感じました。」といったように、この支援を通して母校への強い思いが感じられました。今後も同志社校友会は大学と連携し、学生サポートを行ってまいります。

2020年度  
一人暮らし同志社大学生  
食生活応援クーポン事業



2021年度同志社校友会ランチプロジェクト



##### 学生の声

ランチプロジェクトのおかげで食堂が使いやすくなったと思います。オンライン授業で家にいる時間が多いですが通学の機会となって精神的にも良かったです。ありがとうございます。(1年次生)

バイトも無くなって仕送りだけの生活だと本当に苦しいですが、学食を安く食べられて本当に助かっています。ありがとうございます。(2年次生)



## クリスマス・イルミネーション点灯式



2019年の様子

アドベントを前に各地でクリスマス・イルミネーションが灯り始めるころ、同志社大学でも点灯式を催しています。

京都の冬の風物詩として広く親しまれている今出川校地の点灯式では、西門を入れて北側に広がる、彰栄館・同志社礼拝堂・良心館に囲まれたサンク

タスコートのヒマラヤスギに約16,000個のLED電球が灯ります。

京田辺校地では、3代目となる2019年に植えられたヒマラヤスギに約6,300個のLED電球が灯ります。正門を入れてすぐの同志社ローム記念館前があるため学外からも望むことができ、キャンパスのシンボルとなっています。

### 今出川校地

11月22日(月) 17:15～(予定)  
西門北側サンクタスコート  
ヒマラヤスギ周辺

### 京田辺校地

11月30日(火) 16:45～(予定)  
同志社ローム記念館前

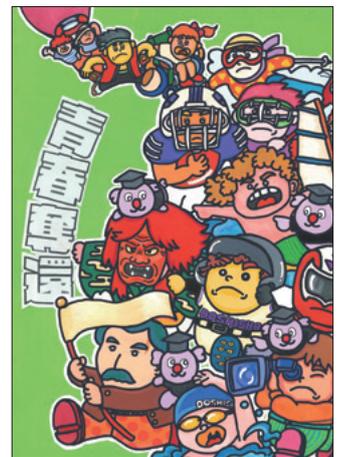
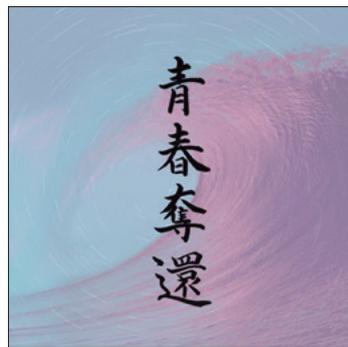
※なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、変更になる場合があります。ご了承ください。

## 第146回同志社EVE「青春奪還」開催!!

同志社EVEは、毎年11月29日の創立記念日を祝う一大行事として、同志社大学生の手によって創り上げられてきました。今年こそは対面形式での実施を切望しておりましたが、オンラインでの開催が決定いたしました。

オンライン配信ではEVE実行委員会の公式HPを活用し、より多くの方々により身近に同志社EVEを感じていただきたいと考えております。同志社大学生だけでなく遠くにお住まいの高校生や卒業生の皆様にも楽しんでいただける企画内容を作成していますので、ぜひオンラインでお楽しみください。例年とは異なる新しい同志社EVEを楽しんでいただければと思います。

今年度のテーマは「青春奪還」に決定しました。私たち一人一人が同志社大学の学生であることに誇りを持ち、新たな未来を切り開いてほしいという思いからこのテーマに決定しました。新型コロナウイルスによって失われた私たちの大学での“青春”を146thEVEで掴みとるという熱意を持って活動します。是非一度公式HPをご覧ください。



パンフレット表紙

第146回  
同志社EVE実行委員会  
公式HP



2021年度 卒業式・学位授与式(学部・大学院)		
日時	学部・研究科	場所
3月20日 (日)	10:00 文学部・文学研究科	未定
	12:30 法学部・法学研究科	
	15:00 神学部・神学研究科、社会学部・社会学研究科、グローバル地域文化学部、国際教育インスティテュート	
3月21日 (月・祝)	10:00 商学部・商学研究科	
	12:30 経済学部・経済学研究科	
	15:00 政策学部・総合政策科学研究科、グローバル・スタディーズ研究科、司法研究科、ビジネス研究科	
3月22日 (火)	10:00 理工学部・理工学研究科	
	13:00 文化情報学部・文化情報学研究科、生命医科学部・生命医科学研究科、スポーツ健康科学部・スポーツ健康科学研究科、心理学部・心理学研究科、グローバル・コミュニケーション学部、脳科学研究科	

2022年度 入学式(学部・大学院)		
日時	学部・研究科	場所
4月1日 (金)	9:30 文学部・文学研究科、社会学部・社会学研究科、文化情報学部・文化情報学研究科、心理学部・心理学研究科、グローバル・スタディーズ研究科	京田辺校地 デバイス 記念館
	11:30 商学部・商学研究科、生命医科学部・生命医科学研究科、スポーツ健康科学部・スポーツ健康科学研究科、グローバル・コミュニケーション学部、司法研究科、ビジネス研究科	
	13:30 法学部・法学研究科、経済学部・経済学研究科	
	15:30 神学部・神学研究科、政策学部・総合政策科学研究科、理工学部・理工学研究科、グローバル地域文化学部、脳科学研究科、国際教育インスティテュート	

※今後、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、時間・場所・実施形態変更や中止する可能性があります。最新情報は大学HPをご確認ください。

## 本学教員の執筆図書紹介

(価格は税込)

### 自治のどこに問題があるのか

野田遊 著  
日本経済評論社 3,300円

### 東南アジアにみる地球的課題を考える

林田秀樹 編 林田秀樹 鈴木絢女 他 著  
晃洋書房 4,180円

### 農園開発と地域社会の構造変化を追う

林田秀樹 編 林田秀樹 他 著  
晃洋書房 4,180円

### 毛沢東時代の政治運動と民衆の日常

巖善平 他 著  
慶應義塾大学出版会 5,720円

### 基礎から学べる会社法 第5版

釜田薫子 他 著  
弘文堂 2,750円

### 国際関係私法入門 第4版補訂

高杉直 吉川英一郎 他 著  
有斐閣 2,750円

### 法の理論 39

鬼頭葉子 他 著  
成文堂 4,180円

### 会計規準の統合と分岐

佐藤誠二 著  
森山書店 3,630円

### 外国会社・雑則 1

舩津浩司 伊藤靖史 他 著  
商事法務 11,000円

### 京都を学ぶ 洛東編

佐野静代 他 著  
ナカニシヤ出版 2,420円

### 社会福祉学習双書 2021 第8巻

地域福祉と包括的支援体制  
永田祐 野村裕美 他 著  
全国社会福祉協議会 2,970円

### 現代カナダを知るための60章 第2版

神崎舞 他 著  
明石書店 2,200円

### 場所から問う若者文化

巒田竜蔵 他 編著 妹尾麻美 他 著  
晃洋書房 2,640円

### 戦後日本外交からみる国際関係

大矢根聡 編 大矢根聡 他 著  
ミネルヴァ書房 3,850円

### フランス文学の楽しみかた

伊藤玄吾 他 著  
ミネルヴァ書房 3,080円

### 地中海世界の中世史

阿部俊大 他 著  
ミネルヴァ書房 2,750円

### 新・判例ハンドブック 物権法

梶山玉香 他 著  
日本評論社 1,430円

### 暴走族のエスノグラフィー

佐藤郁哉 著  
新曜社 2,640円

### 誰一人取り残さない防災に向けて、 福祉関係者が身につけるべきこと

立木茂雄 著  
萌書房 880円

### テキストアナリティクスの基礎と実践

金明哲 著  
岩波書店 4,180円

### スタンフォード神経生物学

坂場武史 他 訳  
メディカル・サイエンス・インターナショナル  
13,200円

### 生理人類学

福岡義之 他 著  
理工図書 3,300円

### 精神医療・臨床心理の知識と技法

石川信一 他 著  
医学書院 3,520円

### 興福寺に鳴り響いた音楽

中安真理 他 著  
思文閣出版 8,800円

### 深掘り観光のススメ

井口真 著  
ナカニシヤ出版 2,420円

### 日本語の構造と変化

山本佐和子 他 著  
風間書房 14,300円

### 語言・民族・国家・歴史

村田雄二郎 著  
重庆出版社

### ビジネス・リサーチ

佐藤郁哉 著  
東洋経済新報社 2,640円

### コーカサスの紛争

富樫耕介 著  
東洋書店新社 3,520円

### Opportunities and Challenges of English Academic Writing Education in Japanese Universities

ROEHL SYBING 他 著  
Research Institute for Higher Education,  
Hiroshima University

### 質の高い研究論文の書き方

佐藤郁哉 他 著  
白桃書房 2,000円

**絶対役立つ教育心理学 第2版**

田中あゆみ 他 著  
ミネルヴァ書房 3,080円

**源氏物語を開く**

植木朝子 他 著  
武蔵野書院 15,400円

**地方自治法入門 第2版**

佐伯彰洋 他 編著 黒坂則子 他 著  
成文堂 2,200円

**刑事事例演習**

十河太郎 著  
有斐閣 2,530円

**民事執行・保全法**

園田賢治 川嶋四郎 他 著  
法律文化社 3,190円

**現代国際商取引 改訂版**

長沼健 吉川英一郎 他 著  
文眞堂 2,860円

**国際金融論のエッセンス**

五百旗頭真吾 他 著  
文眞堂 2,970円

**"スカノミクス"に蝕まれる日本経済**

浜矩子 著  
青春出版社 990円

**あなたとわたしの心理学**

竹原卓真 他 編著 嶋大樹 竹島康博 他 著  
ナカニシヤ出版 2,420円

**古代ギリシアの連邦**

岸本廣大 編 著  
京都大学学術出版会 5,060円

**教学マネジメントと  
内部質保証の実質化**

山田礼子 他 著  
東信堂 3,520円

**会計学を学ぶ 第2版**

田口聡志 他 著  
税務経理協会 1,980円

**地域を支えるエッセンシャル・ワーク**

山谷清志 他 編著  
ぎょうせい 2,310円

**ふだん着のオックスフォード**

臼井雅美 著  
PHPエディターズ・グループ 1,760円

**大学教育学会の過去・現在・未来**

山田礼子 他 著  
大学教育学会

**国際ビジネス用語事典**

長沼健 他 編 小倉隆 高杉直 高橋宏司 他 著  
中央経済社 3,630円

**教職をめざす人のための  
教育用語・法規 改訂新版**

小川雄 他 著  
ミネルヴァ書房 2,420円

**精読憲法判例 統治編**

御幸聖樹 他 著  
弘文堂 4,180円

**生き方と感情の歴史学**

岸本廣大 他 著  
山川出版社 8,800円

**安全保障戦略**

兼原信克 著  
日経BP日本経済新聞出版本部 3,630円

**政策と規範**

山谷清志 他 監修  
ミネルヴァ書房 3,080円

**万葉集の基礎知識**

垣見修司 他 著  
KADOKAWA 2,640円

**政策と行政**

山谷清志 他 監修 山谷清志 編 山谷清志 他 著  
ミネルヴァ書房 3,300円

**反米**

村田雄二郎 他 著  
東京大学出版会 6,160円

**日韓の歴史をたどる**

板垣竜太 他 著  
新日本出版社 1,650円

**公共政策の中のスポーツ**

真山達志 他 編著 川井圭司 他 著  
晃洋書房 2,200円

**総合的な学習/探究の時間の実践研究**

奥野浩之 他 編著  
溪水社 2,090円

**模倣の罠**

立石洋子 訳 中央公論新社 3,740円

**大コンメンタール刑事訴訟法  
第8巻 第3版**

河村博 他 編著  
青林書院 9,900円

**レクチャー・ジェンダー法 第2版**

大島佳代子 他 著  
法律文化社 2,970円

**「趣味に生きる」の文化論**

二宮浩彰 他 著  
ナカニシヤ出版 2,640円

**言語研究の楽しさと楽しみ**

菅原真理子 他 著  
開拓社 7,700円

**労働六法 2021**

土田道夫 他 著  
旬報社 6,050円

**論点体系 会社法 6 第2版**

船津浩司 他 著  
第一法規 5,500円

**ベルギーの「移民」社会と文化**

見原礼子 他 著  
松籟社 3,080円

**保健医療と福祉**

野村裕美 他 著  
ミネルヴァ書房 2,860円

**教育学のパス論的転回**

小野文生 他 編著  
東京大学出版会 13,200円

**会社法 第5版**

伊藤靖史 他 著  
有斐閣 3,190円

**民事執行・民事保全法 第2版**

中西正 他 著  
有斐閣 3,190円

**チベット仏教の世界**

中川吉晴 他 著  
法蔵館 3,850円

**原典イタリア・ルネサンス芸術論 下**

大愛崇晴 他 訳  
名古屋大学出版会 9,900円

**ソーシャルメディア・スタディーズ**

佐藤翔 他 著  
北樹出版 1,980円

**ジャパノラマ**

清水稷 他 著  
水声社 3,300円

**社会経済史学事典**

山下麻衣 他 著  
丸善出版 24,200円

**企業法の改正課題**

川口恭弘 他 著  
法律文化社 11,440円

**文学と言語コーパスのマイニング**

金明哲 他 編著  
岩波書店 3,410円

**ヒットタイトの歴史と文化**

ADA TAGGAR-COHEN 監修  
リトン 3,300円

**同調圧力の正体**

太田肇 著  
PHP研究所 1,012円

**人工知能を用いた五感・認知機能の  
可視化とメカニズム解明**

日和悟 他 著  
技術情報協会 88,000円

**VR/AR 技術における感覚の提示、  
拡張技術と最新応用事例**

土屋隆生 他 著  
技術情報協会 88,000円

**古代の語彙**

藤井俊博 他 著  
朝倉書店 4,070円

**先輩! ビジネスセンスの磨き方を  
教えてください!**

起業からイメージする金融経済教育  
足立光生 著  
中央経済社 2,640円



長谷川 政樹さん  
〔1992年文学部卒業〕



神田 航汰さん  
〔スポーツ健康科学部1年次生〕

## INTERVIEW 同志社人訪問

トキエア株式会社 代表取締役

# 長谷川 政樹さんに聞く

2022年、新潟を拠点としたLCC「トキエア」が就航予定。  
ターボプロップと呼ばれるプロペラ機で志高く日本の空に飛び立ちます。  
代表取締役の長谷川政樹さんに、  
新潟県出身の神田航汰さんがインタビューしました。

### 礼拝堂の2階に下宿 老舗旅館に飛び込み電話で 「雇ってもらえますか」

**神田** どんな学生生活でしたか？

**長谷川** 下宿先はトイレ・台所が共同で  
家賃5000円。教会の礼拝堂の2階で、条  
件は日曜日の礼拝に出ること。だから週

末は遊んでられない(笑)。でも牧師さんご一家とは生涯のお付き合いになりました。京都には憧れがあり、御朱印帳を手にと雪の金閣寺へも行きました。せっかく京都でアルバイトするなら有数の老舗旅館で、と募集もしていない柘屋さんに直接電話して雇っていただいたり。今もお付き合いが続いていますが、こんな風に人との出会いは大切にしていました。

時間がなくてなかなか旅行できなかつた方も  
気軽にちよつと飛べるLCCを目指したい



## 今回の同志社人

### 長谷川 政樹さん 【1992年 文学部卒業】

はせがわ・まさき 1967年生まれ、新潟県出身。日本航空(株)入社後、新潟県庁、ジェットスター・ジャパン(株)、三菱重工(株)を経て現職。国内及び外資系航空会社、航空機メーカーでの業務経験、さらに規制緩和等に関わる豊富な調整経験を活かし、外資系と日本企業との長所を融合した最適ソリューションとして2020年、新潟を拠点とするLCC、トキエア株式会社を設立。2022年の就航を目指す。

## 日本航空が経営破綻 再生処理に奔走

**神田** 就活はどのように行われましたか？

**長谷川** 業種問わず80社は受けました。途中からは、多くの会社を見られる機会はそうないのでいろいろ見てみようと思いを切り替えました。自分が見たことや学んだことを伝える仕事がしたくてマスコミも考えましたが、お客様をいろいろな場所へ直接連れて行ける航空会社という関わり方に魅力を感じました。最終的に仲間として一緒に仕事をしてみたいと

思った日本航空に決めました。

**神田** 日本航空での印象に残る経験を教えてください。

**長谷川** 2010年に会社が経営破綻した際、再建を図るセクションの管理職として事業規模を3分の2に縮小しました。壇上からレイオフの説明をするとヤジを飛ばされ、厳しい質問も受ける。「夢が壊された」と泣かれたことは今も忘れられません。勉強になりましたが、二度と同じ経験はしたくないですね。日本航空の現エグゼクティブのみなさんは、当時共に苦難を乗り越えた戦友のようなもの。今もいろいろ協力していただいています。

**神田** その後は、行政からLCC、航空機

会社へ転職されていますね。

## 行政からLCC、 航空機メーカーへ 「山を動かす男」の心を 揺さぶったお客様の一言

**長谷川** 破綻処理で回復の目処がついた時、地元へ戻ろうと新潟県庁の経験者採用に応募しました。東日本大震災の直後で、新潟港を拠点に全国への輸送網を構築する業務に携わりました。その後、外資系LCCであるジェットスター航空が日本で事業を始めると知り、関わりたいと転職しました。私もそこそこ日本航空で仕事したつもりでしたが、このやり方は全然違って学ぶことばかりでした。

**神田** どう違ったのですか？

**長谷川** まず、働いたら働いただけ収入につながるフル変動制を採用していました。そして現場に責任を持たせ、チーム性を尊重する。そうすることで現場のモチベーションがどんどん高まり面白いアイデアが出てくるんです。トキエアにはこのやり方を生かそうと思っています。三菱ではM-JET (元MRJ) を実際、お客様を乗せて運航する為に、パイロット、整備士、客室乗務員のトレーニング方法を取りまとめ、実際運航に向け訓練を実施してきました。経験値の高いメンバーが世界中から集まり、刺激的な環境でした。

**神田** 記憶に残るエピソードはありますか？

**長谷川** 当時、外国人スタッフから「MM」と呼ばれていたんです。Move Mountain、山を動かすバイタリティを持つ男、という意味。あれはうれしかったな(笑)。

**神田** トキエア設立の夢を描かれたきっかけを教えてください。

**長谷川** ジェットスターで働いている時、お客様に「今までは沖縄に行けるのは1年に1回でしたが、飛行機代が安いので毎月行けるようになりました」と喜ばれました。この時、LCCの良さは低価格だけじゃない、新たな機会や楽しみを創出することだと気付かされました。日本で

# Doshisha People



はLCCの普及は遅れています。今後のためにもLCCを立ち上げた経験や知見を引き継いでおかねばと思いました。

**神田** 会社の始動はコロナ禍が始まった2020年です。影響はありませんか？

**長谷川** 実は小型の飛行機は今の需要に合っています。国内貨物もコロナ以前の水準まで戻っています。飛行機は定員の65~70%を乗せないと黒字にはならないので、200人、300人乗りのジェット機だとお客様を集めるのが大変ですが、48人や70人定員のターボプロップと呼ばれるプロペラ機なら、まだ集客し易く、また、貨物用スペースを大きく取ればさらに少ないお客様で運航できると考えています。

## 地域航空に一番強い飛行機 プロペラ機をトキエアに採用

**神田** プロペラ機の強みは他にも？

**長谷川** スピードではジェット機に勝てませんが、新潟からのフライト時間で比べるとほとんど変わりません。しかも同程度の定員数のジェット機より40%も燃費が良く、CO2排出量も少ない。狭い日本に最も適しているのはプロペラ機です。

**神田** 環境面でも時代の最先端なんですね。大企業には数々のハードルがあると思いますが、乗り越える原動力は何ですか？

**長谷川** 航空会社は当然一人で作れるものではありません。トキエアにも今までの経歴の中で接点のあった多くの方が協力してくれています。海外の航空機リース会社とのハードな交渉担当、世界で活躍している経験豊富な航空専門の顧問弁護士。日本で航空会社の立ち上げ経験を持つ主要メンバーも来てくれました。日本人、外国人問わずです。資金面では地元新潟の方々。こういった皆さんに支えられ走り続けています。

## 「私がトキエアを支える」と 思っていただけの地域航空へ

**神田** トキエアを今後どんな存在にしたいと思いますか？

**長谷川** 新潟に住む妹が先日関西へ遊びに行ったのですが、昼便のLCCだと時間が効率よく使えず高速バスを使ったそうです。新潟拠点のトキエアなら始発から最終便まで1日フルに使える。土日に時間が空いたのでちょっと北海道へ、ということが出来るLCCを目指します。トキ

エアのターゲットはビジネスマンだけではありません。自分の財布からお金を出して乗ってくださるお客様、学生さんや女性のグループに「私の会社」と応援していただける会社になりたいと思っています。



**神田** 私もバスケットボール部で周りの支えが非常に力になっています。最後に、後輩へのアドバイスをお願いします。

**長谷川** 私が大切にしているのは「やり抜く」ということです。頑張る人はいっぱいいますが最後までやり抜くことが大切です。やり抜くためにどうすればいいか真剣に考え、時間軸のある具体的な計画を立て実行してください。そして自分自身が土俵のわきにいるのではなく、中心に乗っかること。いろんな場面でこれをやり続けると面白くなってきます。トキエアは関西にも飛びます。今、一生懸命仕上げにかかっているの、是非トキエアで新潟に遊びに来てください。そしてどんなサービスや工夫があるかを感じ取ってもらえるとありがたいと思います。

## Interviewer

**神田 航汰** さん  
【スポーツ健康科学部  
1年生】



かんだ・こうた 新潟県出身。幼少期からバスケットボールに取り組む。スポーツの意義を多角的な視点で考えたいとスポーツ健康科学部へ入学。フィジカルの強化やプレイの質を高める方法など、学部での学びを部活動に生かしている。さらにコーチング論などを専門的に学び、チーム強化を目指したいと考えている。

## インタビューを終えて

日本に新しい航空会社を立ち上げたバイタリティあふれる方から何が重要なのかといったことを伺え、貴重な経験になりました。私が所属するバスケットボール部は現在、チームビルディングに課題があり、どう変えていけばいいのかを私自身ずっと考えてきました。今日、長谷川さんから「やり抜く」ことや「自分が主体となること」の大切さを教えていただき、1年生でも遠慮せずチームづくりに動いていこうという思いを強くしました。今後はプロを目指し、プレイヤーとしてできるところまでやり抜こうと思います。そしてその過程で学んだ経験を人に教えるセカンドキャリアも視野に入れながら、バスケットボールに関わり続けたいと思います。

# My Job,

私と「仕事」

学生時代からの夢を追い続け、多彩な分野で活躍する卒業生

その姿が学生の皆さんの将来の

かつき さとえ  
**甲木 里枝さん**

[2001年 法学部政治学科卒業]

[2003年 総合政策科学研究科修了]

[薬膳ハウス金木犀]主宰、株式会社 金木犀代表

## 公務員を辞め薬膳料理研究家の道へ 「好き」を極めて事業を開拓



**TV**  
出演するテレビ番組「城島健司の」的約りテレビ(RKB毎日放送で毎週日曜放送)での一コマ。



**ラジオ**  
ラジオ番組「SATOEのよかよか薬膳」(コミュニティラジオ天神、毎週火曜放送)で薬膳料理や健康にまつわる情報を発信しています。



**オンラインレッスン**  
オンラインレッスンの様子。食で心身を整えた生徒さんの、人生が変わるターニングポイントに立ち会えるのが仕事の醍醐味です。



**商品開発**  
商品開発に携わった「薬膳ハウス金木犀のスープ」。体を整える手助けとなるよう、日本一鶏肉研究所様と共同で基本+五色のスープをつくりました。



**リフレッシュ**  
リフレッシュしたい時は、ベランダの植物に水やりしたり森など緑の多いところに行きます。将来は自社の畑でハーブを育てたいです。

### 走り続けた社会人生活で 病気療養のブレーキがかかる

在学中に政治学を学び、修了後は国家公務員として12年半働いていた私が、なぜ薬膳料理研究家に転身をしたのか——きっかけは、忙しく毎日を過ごしていた時に、大きく体調を崩した経験でした。病気療養をするなかで出合ったのが薬膳料理です。薬膳料理とは、ある目的を持ち、その目的に沿った食材を使い、普段の食事よりも効果・効能を高めた料理のこと。お料理は好きでしたが、それまで忙しくて「体に良い食事を摂る」こともままならない毎日でした。でも、薬膳料理を作るうちに薬膳という学問のトリコに。仕事を辞め、国際薬膳師の資格を取るため本格的に勉強を始めました。

勉強を続けるなか、企業から協力依頼が舞い込み、続けてテレビ出演が決まりました。その後、薬膳料理スクールを開講。また、生薬で有名な韓国・大邱広域市に行った時、ご縁で大邱広域市寿城区のメディカルサポーターを受任しました。2018年に会社を立ち上げ、今は商品開発やレストランのメニュー開発、セミナー講師、雑誌への寄稿などさまざまな事業を進めています。また、大邱韓医大の薬膳設計師という資格を、日本人で初めて取得する予定です。

### 人のためでなく自分のために働く 素直な心が未来に続く道を照らす

もちろん、会社を立ち上げるには勇気が必要でした。これまでの学歴や経験を、一度全部捨ててしまいますから。それでも、「誰かのために」と常にオーバーワークを続け体調を崩した経験から、自分を大切に生きる方に舵を切りました。結果、学生の頃には想像もできなかった道が拓けてきたのです。

在学中を振り返って思い出すのは、「EU論」の講義で聴いた「スピルオーバー仮説」です。ももとは、非政治的な領域での協力関係が深まると、周辺へ波及していくことなのですが、これは仕事にも当てはまります。他人軸でなく自分軸で生き、自らが満たされていれば、そのポジティブなエネルギーはきっと、周囲へ波及すると考えています。

日本人は一度、進学・就職のレールに乗ると、その後はなかなか辞められません。同調圧力もあります。しかし、「良いところに就職すれば一生安泰」と他人が言っているときに自分は楽しくて、生きていて良かったと思えるのか。本当はどうしたいのか。間違っても修正し、人と違う選択肢でも選べるのが大事だと実感しています。

# My Life

第87回

を訪ね仕事に挑む熱い思い、今後の目標などをインタビュー。

キャリア・プランに役立てば幸いです。

きたがわ としまさ

北川 敏匡さん

[2007年 工学部機能分子工学科卒業  
(現 理工学部機能分子・生命化学科)]  
ファーマーズキタガワ 事業主

## 旧来のやり方にとらわれない戦略的な発想で 「こだわりのある儲かる農業」を経営する

### リピーターをもついちごへ 綿密な管理でブランド育成

三重県伊賀市の山あい農場を経営しています。ここは寒暖差が激しく、作物の味が濃く出る。これを生かし、「ファーマーズキタガワの味」のいちごやトマトを追求しています。

同志社大学卒業後は大手食品会社に就職しました。しかし会社という枠の中で上を目指し続ける自分をイメージできず、4年目に退社しました。実家は兼業農家ですが、もともと継ぐ気はなかったんです。ただ、高齢化が進んだ農家の厳しい状況を見ていたので、もっと良いやり方があるのではという思いが募りました。土地に合った作物を見つけてブランディングし、戦略的に経営する農業です。やるからにはここまでできるのだと見せつけ、評価を得たい。でなければ農家は変わらない。そう考え、専業農家になる決断をしました。

ファーマーズキタガワのコンセプトは「こだわりをもった儲かる農業」です。私のこだわりは徹底した管理。その中のひとつは水です。日照に合わせて必要量を数値化、自動で灌水量を変えるシステムを導入しました。同じ品種のいちごが全く違った味になることに驚きました。

2021年春、青山や銀座をはじめ全国に店舗を展開する洋菓子店「キルフェボン」の期間

限定タルトにうちの「満天星いちご」を採用していただきました。もとは「よつぼし」という品種で、味と形は優れていますが粒が小さく収穫量が少ない。そこで、きれいな小粒が重宝されるスイーツ向けにアピールしました。地元の人気カフェやレストランでも好評で、「キタガワさんのいちご」とSNSで広がり、リピーターもつくブランドに育ちました。

### 「こうあるべき」から自由な 面白い農業をめざして

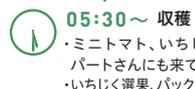
最近は近隣の農家と協同し、効率よくお米を作る試みを始めました。今後は法人化して外から人を集め、新しい見方で面白い農業をつくるという夢を持っています。地元の農業を盛り上げること、自社ブランドを強くすること。両輪を大きく育てながら走り続けます。

大学では軽音サークルFSSで活動、同志社EVEランダムステージの設営責任者も任される中で多くの人に出会いました。感性や意見はそれぞれ違っても「こうあるべき」と押し付ける人は少なかった。そんな環境で人格が形成されたので、今も「農業はこうでない」という凝り固まった考えを持つことはありません。後輩の皆さんには、やりたいことを突き詰め、良くても悪くても自分なりの結果を出してほしい。その経験がいつか必ず生きてきます。

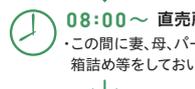
### One day on the job



04:00～  
起床 作業準備  
・当日の注文確認  
・ビニールハウス見回り  
・直売所、飲食店配達分準備



05:30～ 収穫 パック詰め  
・ミニトマト、いちじく(冬春はいちご) 収穫、  
パートさんにも来てもらって  
いちじく選果、パック詰め



08:00～ 直売所、飲食店配達  
・この間に妻、母、パートさんに、トマト収穫、選果、  
箱詰め等をしておいてもらう



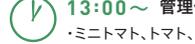
09:30～  
選果、箱詰め、  
袋詰め



11:00～  
管理作業  
・ミニトマト、トマト、いちごの手入れ  
・病気や害虫チェック



12:00～ 昼休み



13:00～ 管理作業  
・ミニトマト、トマト、いちごの手入れ



16:00～  
配送業者、  
飲食店配達



18:00～ ハウス見回り、片付け、帰宅  
・帰宅後は子供たちと戯れる時間

挑戦する人



もチームでも常に考える。同志社大学を選んだのは、全国レベルで活躍する憧れの先輩が多く在籍していること、学生主体でチーム内の信頼関係が強くオンとオフのメリハリがついていることに魅力を感じたからだ。「練習は正直、キツくて苦しいときもある。でも先輩

や後輩が自己ベストを更新すると、同じ練習を乗り越えてきた自分にもできるはず、と力をもらえます」。全国一位になるためには、全国で一番練習するのが当たり前。誰から見ても練習量が豊富な勝てる選手だと思われたい。400mのトラックに置かれた10台のハードルをどう跳び、どう走り切るか。自分にとって最適な歩数を決め、勝つためのプランを考える。試合で欠点や長所を見極め、練習で何度も調整し、さらなる高みを目指す。それがハードル競技の醍醐味だと感じている。「スタートラインに立つと心臓がバクバクし、不安になる。でも競技歴を重ねるごとにメンタルが鍛えら

れ、人一倍強くなりました」。どんな場でも力を最大限発揮できるのは、陸上競技に真剣に取り組んできたからこそ得たものだ。

村上さんは現在2年次生。今後、多くの大会が待ち受けている。目標はオリンピック選手も出場するメジャーな大会で優勝し、名の知れた選手になること。大学で充実した経験と実績を積み、卒業後は実業団で競技を続けて世界大会などの大舞台で活躍すること。その目は、いくつものハードルの向こうを見据えている。

# My Purpose

2021年「日本学生陸上競技個人選手権」「関西学生陸上競技チャンピオンシップ」の400mハードルで優勝。  
「負けるわけがない」という不屈のメンタルで結果を出す



むらかみ しょう  
村上 翔さん

[文化情報学部  
文化情報学科2年次生]

動画でチェック



「陸上競技が大好き。怪我しても無理してしまう『陸上バカ』です」と笑う村上翔さん。2021年5月に行われた「関西学生陸上競技チャンピオンシップ」400mハードルで優勝。翌6月の「日本学生陸上競技個人選手権」でも一位を勝ち取った。「今シーズンは全国でも勝てるタイムが出ていたので、強い気持ちで臨めました」。

ハードル競技を始めたのは中学校の陸上部。3年生になると110mハードル全国9位、さらに、110mハードル・走り高跳び・砲丸投げ・400mの合計点を競う四種競技で全国8位の成績をマーク。「四種競技の中でも特に得意なハードルと400m、この2つを組み合わせた400mハードルなら全国トップを狙えると確信しました」。以来、体

を作るための食事制限や毎晩のストレッチを欠かさない。中でも大事にしているのは寝る前のイメージトレーニングだ。「翌日の練習や次の試合でどう跳ぶかをイメージすることで、確実にいい動きにつながります」。しかし一方で怪我が多く、苦勞して競技を続けてきたほうだという。「今年の2月にもひどい肉離れをおこし、今シーズンは終わったなと絶望しました」。深く落ち込み、「なぜこうなったのか」と考えた。しかし翌日には「今何ができるか」に気持ちを切り替え、シーズンプランを練り直した。何度も怪我に打ち勝ってきた経験があるからこそ、自分を信じて頑張れた。

練習は週5日。コロナ禍で1日3時間の制限があるため、効率よく濃密な練習を自分で

